

2026 年 2 月 2 日

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

## 3Dmapspocket®が機能を拡張し“総合 3D 空間プラットフォーム”へ進化 3D 計測・分析・仮想配置をワンストップで実現し都市/インフラ/不動産に対応

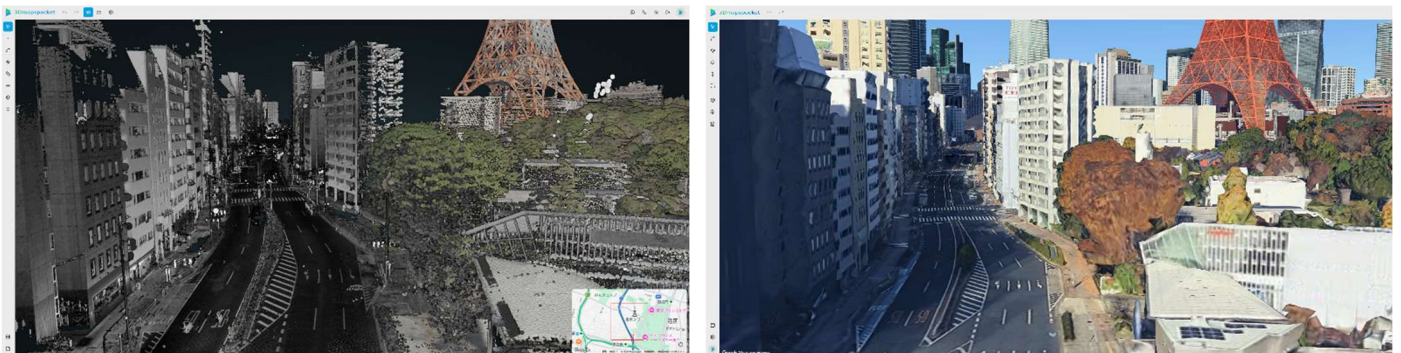
ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 吉村 修一、以下「当社」)は、「3Dmapspocket®」をこれまでの「高精度 3 次元点群データのビューアーサービス」から都市空間の計測・分析・評価まで可能な「総合 3D 空間プラットフォーム」へと機能・用途の範囲を拡張し、新たなプロダクトとして再定義しましたことをお知らせします。

今回のアップデートにより、実写 3D による表示※に対応しました。従来の点群データ上での高精度な計測機能に加え、実写 3D 環境での距離・高さ・面積等の計測や、ユーザーが作成した任意の 3D オブジェクトの配置、街路レベルの評価などがワンストップで可能となります。

このことにより、3Dmapspocket®はこれまでの“点群ビューアー”の枠を超え、複合的な空間検証を一元化する“総合 3D 空間プラットフォーム”として、都市開発、まちづくり、インフラ管理、事故調査、不動産開発など幅広い現場で活用領域を拡大します。

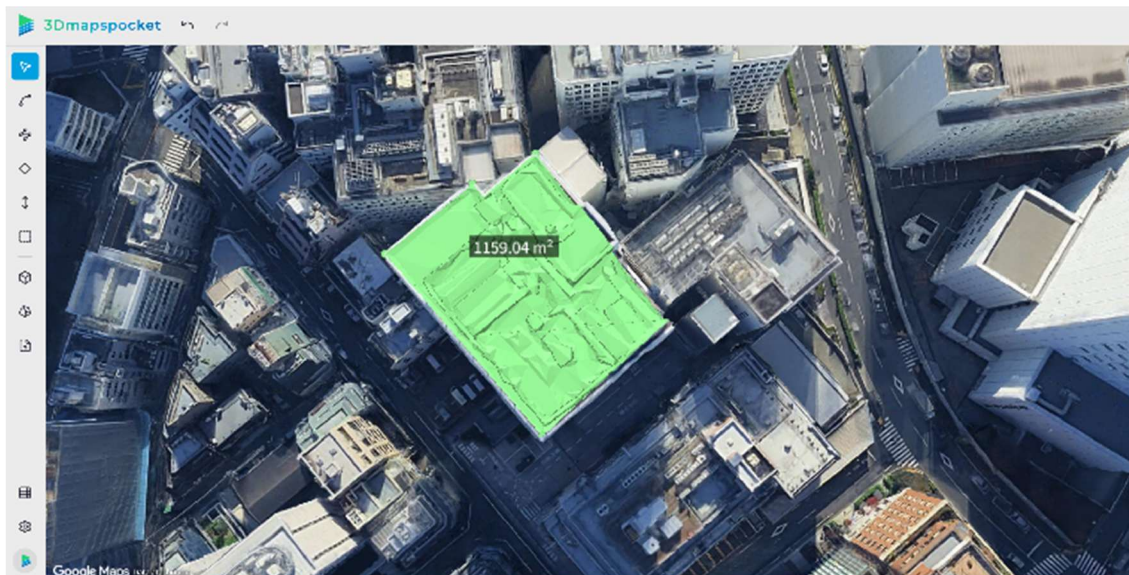
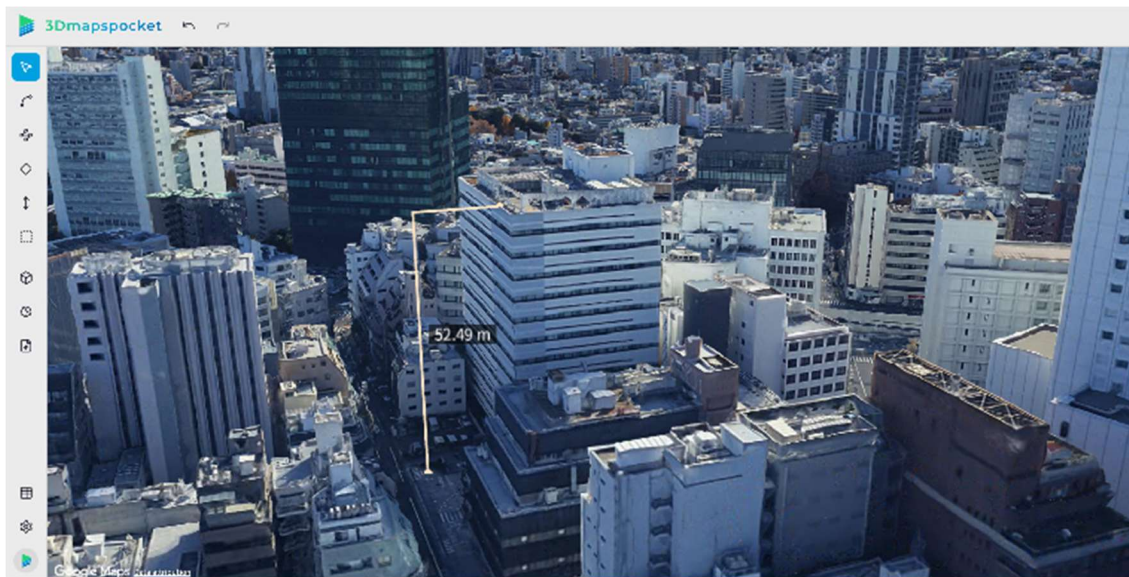
当社はビジョンである「Modeling the Earth」の実現に向け、今後もプロダクトの機能アップデートを柔軟に進め、デジタルインフラの整備を推進してまいります。

- 「3Dmapspocket®」新機能ご紹介動画: [https://youtu.be/V\\_Y89ew-siY](https://youtu.be/V_Y89ew-siY)

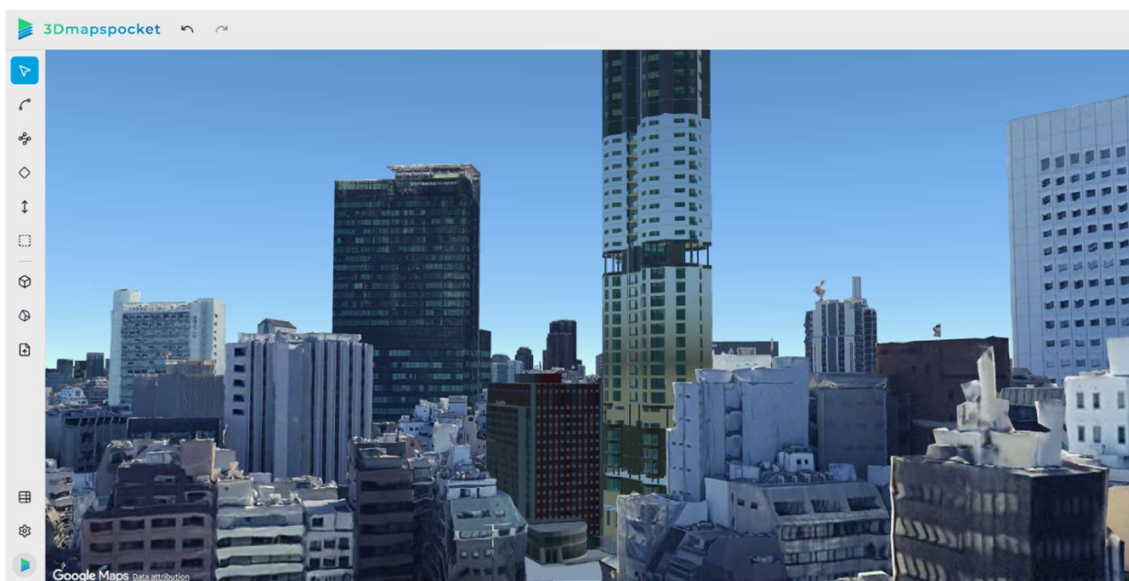


(左)高精度 3 次元点群データ表示(既存機能) (右)実写 3D 表示(新機能)

※Google Photorealistic 3D Tiles による表示



高さ・面積の計測イメージ



3D オブジェクトの配置イメージ

### <ダイナミックマッププラットフォーム株式会社について>

当社は日本政府によるバックアップのもと、国内自動車メーカー10社等の出資により設立されました。日本をヘッドクォーターに、北米・欧州・中東・韓国に拠点を構え、現在26ヶ国で事業を展開。自動運転や先進運転支援システム(ADAS)をはじめ、シミュレータ環境構築、インフラ管理、除雪支援など、幅広い用途に向けて高精度3次元データを提供しています。

「Modeling the Earth」=地球のデジタル化をビジョンに、高精度3次元データのプラットフォーマーとして、様々な産業分野におけるイノベーションを共創します。

設立: 2016年6月

本社: 東京都渋谷区

代表者: 吉村 修一

事業内容: 自動運転・ADASをはじめ多様な産業を対象とした高精度3次元データの提供

URL: <https://www.dynamic-maps.co.jp/>